

医療ドラマを書きたい人のための「現場のリアル」

「作家のmanaびバ」 医療編スタート

行政書士・税理士・元刑事・弁護士といった多士済々から「男女関係・借金や相続と
いったお金のトラブルの最前線で起きている人間ドラマ」を学んできた「作家のmanaびバ」。
2019年は、よりリアルな医療系ストーリーを書くための「作家のmanaびバ・医療編」をスタートします。

無資格で手術をして大金を得る「ブラックジャック」、決して失敗しないフリーランスの外科医「大門未知子」、タイムスリップした「JIN」…これらが荒唐無稽であることは誰でもわかります。では、海外ドラマの「ER」は、どこまで本当なのでしょう？「グッド・ドクター」は？「透明なゆりかご」は？

医師や看護師でない限り、私たちが知りうる医療の知識は、実際に病気になった時に病院で見聞きしたこと、エンタテインメントとして接するテレビドラマ・映画・小説だけ。これでは、面白いストーリーを思いついてもリアルな肉付けはできません。

作家のmanaびバ・医療編では、「よりリアルな医療系ストーリーを書くために」と題して当事者が医療テーマごとにリアルを伝えます。ぜひ創作の参考にして下さい！

作家のmanaびバ第5回のテーマ「ドラマは手術室の中で起きている！」。
手術室、そこは医師と看護師が支配する密閉されたブラックボックス。
多くの患者は麻酔で眠っていて、最愛の家族の目も届かない密室で
映画やテレビでは描かれない「生命をめぐる戦いのドラマ」が起きている！

- ※手術に臨む医療チームの編成とその役割は？
- ※突然の出血！予想しないがん転移の発見！その時医師は、看護師はどうする？
- ※手術の途中で方針をめぐる医師同士、または医師と看護師で意見が対立することはあるの？
- ※10時間を超える大手術。医師・看護師はずっと緊張したままなの？
- ※手術前日、当日、直前に医療チームが行うことはなに？

日時:2019年2月2日(土) 午後7時～8時30分(開場 午後6時30分)

会場:フォーラムエイト 4階 **403号** (TEL03-3780-0008)

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大宗ビル(ハチ公改札口から徒歩5分)

受講料: **3,500円(一般) 3,000円(大学生・専門学校生)** (学生証を提示して下さい)

お申し込みは日本放送作家協会のホームページウェブサイト w.hosakkyo2012.jpより

講師: 中田 善規 (なかた よしのり)氏

帝京大学医学部麻酔科学講座・教授。専門分野:手術麻酔全般、医療経営学
東京大学医学部・経済学部卒。エール大学経営大学院修了(MBA)。マサチューセッツ総合病院、ハーバード大学、マサチューセッツ大学医学部麻酔科、帝京大学市原病院副院長を経て現職。幼児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんの手術で麻酔を担当。



お問い合わせは 一般社団法人 日本放送作家協会 イベント窓口 e-mail:event@hosakkyo